

# サイエンスキャンプ 2001 開催 (つくば・北海道)

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/event/old\\_event/ev2001/ev20010730/old\\_ev20010730.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/event/old_event/ev2001/ev20010730/old_ev20010730.html)

## つくばセンター 「模型スターリングエンジンを作ってみよう」 7月30日～8月1日

スターリングエンジンは、高温と低温の二つの温度(温度差)を与えると動きます。そのためにいろいろな熱源を用いて動かすことができるので、将来の環境に優しいエンジンとして注目されています。このコースでは熱が機械的な仕事(動力)に変わる仕組みについて、自分で模型エンジンを作って体験しました。



## つくばセンター 「太陽電池を作ってみよう」 7月30日～8月1日



地球環境に優しいエネルギー源としてよく聞く“太陽電池”は、電卓や時計などにも使われてとても身近なものです。本コースでは太陽電池の試作を行いました。

## つくばセンター 「プログラムでハードウェアを作ってみよう」 7月30日～8月1日

ICやLSIには特定の目的のデジタル回路が焼き付けられていてハードウェアとしては決まった動作をするだけです。今は自分で作った回路を書き込むことのできるFPGAというチップがあります。このコースでは、FPGAをプログラムして好みの回路を作って実際に動かしました。



## 北海道センター 「北の大地ー自然と科学を探るコース」 8月1日～3日



「北の大地コース」では、遺伝子工学・バイオ技術とは何か、エネルギー問題をどのように考えどう切り抜けるか、無重力状態で物質はどのようにふるまうかなど、最先端科学の話題について、講義・室内作業・見学を通して学びました。

## 北海道センター 「地質コース」 8月6日～8日 <http://www.aist.go.jp/GSJ/AIST/HOK/SC2001/album/index.htm>

このコースでは、8名が北海道洞爺湖畔を舞台に、どのように地球科学情報を得るかを野外および室内作業を通して学びました。特に野外では火山起源の地層を観察しながら地質調査の方法を習得しました。

